

特定非営利活動法人 ふくおか環境カウンセラー協会 会報

第2号

特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会
理事長：依田 浩 敏

環境相談、環境講演会の講師派遣等については
「特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会」に気軽にご相談ください。

◆ 理事長あいさつ

昨年5月の設立総会、9月のNPO認証を経て、当協会もようやく動き出しました。また、理事、会員各位のご協力の下、活動組織もほぼ固まりました。御礼申し上げます。

さて、去る2月21日、ひろしま環境大学にて、「環境に関する知識や情報、ノウハウの活かし方」と題する講演を行いました。これは、環境に関するアドバイザーとして活躍できる人材（環境カウンセラーや広島県認定制度の環境保全アドバイザー）を育成することを目的に、年6回開催されるものです。講演後、主催者である「環境カウンセラーひろしま」（事務局長：薦田直紀氏）のメンバーの方と情報交換をさせていただき、当協会との連携、交流をお願いしました。

今後は、こうした他地域の団体、交流会でご講演いただいた松浦氏の「九州環境カウンセラー協会」、NPO法人環境カウンセラー全国連合、会員各位の所属する団体等との横の連携（例えばイベントの後援、参加等）を図って参りたいと考えております。

昨今では、国や自治体の財政難から、行政サービス業務の委託をNPO法人等の市民団体が受けるようになってきております。また、「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」もでき、当協会の果たすべき役割がますます大きくなります。

来年度は、いくつかの具体的な事業、プロジェクトを推進していきたいと考えておりますので、皆様の積極的なご参加をよろしくお願い申し上げます。

理事長 依田浩敏

◆ 第1回環境カウンセラー交流会開催報告

環境カウンセラー交流会運営委員会



会員相互のコミュニケーションの醸成、技術レベルの向上及び今後の活動計画に対するニーズの把握等を目的に「第1回環境カウンセラー交流会」を平成16年2月1日、福岡市中央市民センターにおいて開催しました。

プログラムは九州環境カウンセラー協会代表幹事の松浦 茂雄氏に「NPO法人環境カウンセラー全国連合」についてご講演を頂きました。

この他、会員の松井氏から「環境カウンセラー活動実績報告書の記載内容」について、また、大坪氏から「水面栽培水質浄化によるまちづくり」に

ついてそれぞれご講演頂きました。最後に依田理事長を座長に全員参加型の事業推進の方策について意見交換会を開き盛会のうちに閉会しました。

技術解説

第1回環境カウンセラー交流会における講演内容の紹介です。

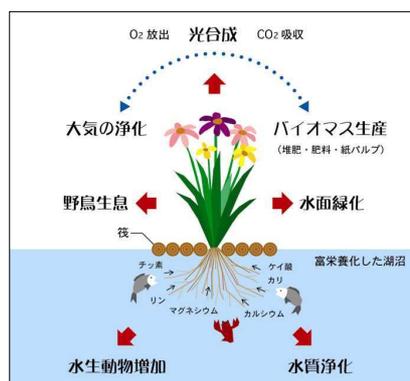
◆ 水面栽培を用いた水質浄化について

大坪 克巳

（専門分野：水質、環境計画、環境教育、町づくり、地球環境問題）

これは、富栄養化した湖沼の水面で植物を栽培することにより水質の改善を図ろうというものです。また、これを住民参加で行なうことで地域の交流を促し、地域社会再生への助けとなればというねらいもあります。概要は次のとおりです。

- ①「水面栽培法」とは湖沼水面に浮かべた筏（ラフト）の浮力を用いて、植物の根を水中、地上部を筏上で生育させる無土栽培法である。（右図）
- ②その特徴としては、環境負荷が小さいこと、ミニビオトープを形成すること、ローコストであること等があげられる。また、水質浄化ばかりでなく生育植物の活用、環境啓発、生涯教育や高齢者福祉への貢献など、二次的な効果も期待できる。
- ③活動の構成としては、次の4段階が考えられる。
 - ・事前学習／地球や地域の水環境、水面栽培法についての学習
 - ・計画製作／筏の設計と製作（ワークショップ）
 - ・移植係留／筏への植物の移植と筏の係留（住民参加）
 - ・観察調査／動植物の観察、水質調査など（総合学習）
- ④活動の主体としては、小中学校や町内会、地域のサークル活動などが考えられる。
 - ・小学校総合学習の場合は、5年生3学期～6年生2学期の1年間サイクルで継続可能（但し、製作に際しては大人の補助が必要）。
 - ・子どもから高齢者までが参加する町内会活動としても継続可能。



◆ 環境教育リーダー研修基礎講座に参加して

環境学習担当理事 松井 亮二



環境教育をより推進するため、15年度から始まった環境省と文部科学省合同主催の学校教員と地域で活動している市民リーダーを対象とした「環境教育リーダー研修基礎講座」；やってみよう環境教育：中国地区会場（山口市1泊2日）に当協会の地域支援団体構築事業推進の参考に参加をしたので概要を報告します。

本研修は、学校教員（50名）と市民リーダー（30名）が参加し、地域と学校が連携した環境教育の必要性について受講した後成功している小学校の実践例の発表があり、これを参考にして6人（教員4名、市民2名）の小グループで両者が膝を交えてどうしたら連携が出来るか本音の意見交換が行われました。

環境の異なるお互いが立場の相違や考え方を知ることが出来自信を深めましたが、実現のためには、まず地域側から学校へアプローチすることから始めなければ、何も始まらないことが良く分かりました。

16年度は九州地区での開催が予定されているようです。多くの理解者が増えることも必要ですので皆さまの参加をお進めします。

活動紹介①

会員の環境保全活動を紹介しています

林 宏

（専門分野：自然観察（植物、鳥、水生生物、昆虫、星空等）、森林保護以外の自然保護）

私は鳥が専門ですので、鳥に関する環境保全の仕事がいろいろあります。その内の幾つかを次に挙げます。

（1）博多湾人工島モニタリング委員会で博多湾の鳥の生息状況把握と管理、人工島を含むエコパークゾーン検討委員会で鳥に好適な環境作り、人工島レビュー委員会で環境の現状把握、人工島野鳥公園検討準備委員会で検討委員会の立上げのための準備をしてきました。鳥はえさがある所と休息場がある場所に來ます。

鳥のえさを豊富にする各種条件の内、博多湾の海水の富栄養化を防ぐための一つの方法として、湾内に大量に発生するアオサを取り除いて適切に処理することが考えられます。

（2）北九州市立自然史・歴史博物館自然史友の会（会員数約 800 人）会長の役目があります。自然が好きな人の集まりで、鳥をはじめ 7 つの研究部会が活動しています。会員の皆さんに、自分が自然に親しむとともに、次世代の人に対する自然環境教育を心掛けていただくよう、訴えています。

（3）帆柱自然公園愛護会（会員数約 500 名）常任理事、めかり野鳥の森を育てよう会顧問として、会員およびイベント参加者に、鳥を頂点とする自然環境に関する講演等を行っています。

（4）そのほか国土交通省、水資源機構、福岡県、北九州市、下関市、津屋崎町ほかの各種委員会で、鳥の生息環境保全に関する意見を述べてきました。その内の一つ「福岡県農林水産公共事業再評価委員会」での委員としての肩書きの一つに、「環境省環境カウンセラー」としてあります。



活動紹介②

会員の環境保全活動を紹介しています

森 壽泰

（専門分野：環境教育、市民活動、地球環境問題、環境全般）

現在、私は筑後地方の高校で社会科（地理）教諭として勤務しています。

このような小生が環境カウンセラーを目指した理由は 1991 年の台風災害までさかのぼります。この年の夏に原因不明の高熱で入院し“死”というのを脳裏に横切らせながら一ヶ月の闘病生活を送りました。

退院すると台風のために屋根瓦はすべて吹き飛ばされていて、自然の脅威を痛感すると同時に、異常気象が始まっているのではと考えさせられました。

それまでは、ただ教科書だけで授業をしていたため、生徒たちは環境問題を他国の問題と捕らえていました。これではいけないと思い地域の教材化（環境問題に関係する地域の写真撮り）を計り始めたのです。また、できることを少しでもと思い、星野村の植林や八女のハゼ並木植栽に参加したり、上陽町のゴミ処分場問題に出かけたりしていました。

その後、河川モニターを 5 年間引き受け、矢部川のモニター区に多自然工法の提案を致しました。

我が家に太陽光発電装置や雨水タンクを取り付け、また EM ぼかしを利用して生ゴミ処理等を行っていますが、どうも独りよがりで広がりを感じ得ませんでした。このようなときに環境カウンセラーの事を知り得て応募したのです。

環境問題は範囲が広く奥が深いため、私自身はどの分野をとっても浅く広くという現状が拭えません。

また、現職のため（環境分野だけに専念できない）なかなか深まらないのが実状です。カウンセラーになる以前に、八女地域で環境の現状について二度ほど話をしたことがありますが、健康に関する質問があり困ったことがありました。しかし、今は「健康管理士一般指導員」の資格を取得したため、少しは説明できると思っています。今後は“環境と健康”をテーマとして、もう一つは「尺八演奏を通して、



環境問題について分かり易く説明ができれば」と考えています。また、南小国の100坪購入地（借金返済中）に植林をしてここから環境について何かをと考えています。ただ、休日活動となるため家族の同意が得にくいのも実状です。

事務局だよ

◆ **環境カウンセラー環境省HPの登録内容の変更について**

本年より環境省のHP名簿に「環境カウンセラー活動実績等報告書」が掲載されますが、現在の個人の登録内容と異なった新たな分野や資格等を取得された活動内容を報告された方は、PRを高めるため変更しておくことをお奨めします。

方法等は環境教育担当松井理事までお問合せ下さい。様式等をお届けします。

◆ **全国都市緑化フェアー市民自主出展プロジェクトメンバー募集**

平成17年9月より72日間、国土交通省関係財団の主催で福岡市の人工島（アイランドシティ）にて「全国都市緑化フェアー」が開催され100万人の入場者が予定されています。

福岡市から当協会へ市民自主出展の協力の依頼がありましたので、プロジェクトチームを結成し、計画から実施までの対応を進めたいと思います。詳細は環境教育担当松井理事までお問合せ下さい。

募集締切り4月末まで事務局へご連絡下さい。

◆ **会報編集委員及び環境カウンセラー交流会運営委員の募集**

「会報編集委員」及び「環境カウンセラー交流会運営委員」を募集します。経験不要です。事務局までご連絡ください。



◆ **平成16年度通常総会開催について**

平成16年5月29日（土）午後（時間未定）福岡市中央市民センターにおいて平成16年度通常総会を開催する予定です。詳細は追ってご案内します。



◆ **寄付金へのお礼**

3月8日、松井亮二氏（当協会環境教育部担当理事）から2回目の寄付金18,500円を頂きました。

前回は21,500円頂いていますので本年度は合計40,000円のご寄付を頂きました。会員の皆様へお知らせするとともに厚くお礼申し上げます。

◆ **編集後記**

遅くなりましたが会報第2号をお届けします。本号から会員の皆様の活動状況を紹介していくことにしました。是非、皆様の環境保全活動状況についてご寄稿ください。その他の事項についても皆様からのご寄稿をお待ちしています。（事務局）

特定非営利活動法人ふくおか環境カウンセラー協会
会報 第2号

平成16年3月31日

発行 特定非営利活動法人
ふくおか環境カウンセラー協会

発行責任者 依田 浩敏

事務局 武藤 博昭

〒818-0110 太宰府市御笠 1-6-18

TEL/FAX 092-925-5344